

2025.11.15

20歳が消防団入ってみた！

— 大学生が1日消防体験に参加してみた —

Part 3



栃木県消防学校で消防団の活動を体験してきました！

【体験記録】

2025.11.15

栃木県消防学校

1DAY消防団体験



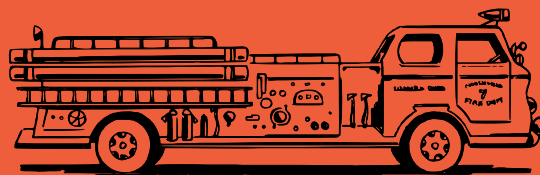
栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/I02/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>



体験内容



11/15に栃木県消防学校にて行われた
「1DAY消防団体験」に参加してきました！

午前	9:00	ガイダンス・講義	
	10:00	規律訓練	
	10:30	搬送体験・AED体験	
午後	12:00	昼食休憩	
	13:00	土のう作り・土のう積み	
	14:00	放水体験・ホース延長	
	15:00	座談会	

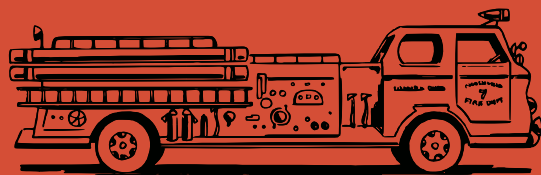
栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>



午前の部



午前の部では、まず栃木県の消防団についての講義を受けた後、屋内訓練場にて、規律訓練と搬送体験・AED体験を行いました！

規律訓練

訓練時や出動した現場で集団行動を行うための規律や、行動様式を訓練しました！

緊急時に消防団の統率が取れているということは、団員自身の身を守ることにつながるだけでなく、市民の方々の冷静でスムーズな避難を促すことにもつながります！



搬送体験・AED体験

傷病者を安全に搬送する方法やAEDの使い方を体験を交えて学びました！

119番通報をしてから救急車が来るまでの時間は全国平均で約10分。その10分で救命措置を行うかどうかで被害者のその後の社会復帰率には大きな差が出るそうです。



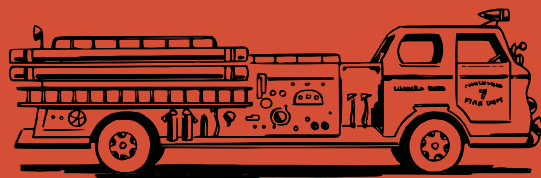
栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>



午後の部



午後の部では屋外で土嚢作成、放水体験をしました！

土嚢作成・土嚢積み

1つ20kg程の土嚢の作成、運搬体験をしました。袋の縛り方や積み方、実際の用途を学び、20人ほどのバケツリレーで運搬しました。現場では200個ほど作り少人数で運ぶこともあり、消防団の方々の体力に衝撃を受けました。

増加する豪雨災害に対しての応急対策となり、家庭でも浸水対策に利用できます。



放水体験・ホース延長

防火衣を着用し、放水体験をしました。ホースの運搬から金具の結合、放水、ホース収納の一連の動作を学びました。ホース自体の重さや、放水の反動、防火衣の動きにくさなどが相まって大変な重労働でした。



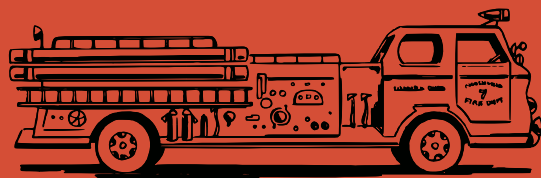
栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>



団員の方々の ぶっちゃけトーク



Q.入団したきっかけは？

A.親が消防団の団長をやっていた
知人や友人からの勧誘・職業上の関係

Q.遊び心で入団しても良いのか

A.オンとオフができれば○
最初は自分も遊び心で入団したが、
実際に火災現場への出動がきっかけで
意識が大きく変わった。なのでまずは
興味や遊び心で今回のようなイベント
に参加したりして実際の訓練や団員の
人柄を見てほしい

Q.報酬について

A.基本は年額報酬と出勤報酬
活動中にけがした場合は公務災害補償
退勤時には勤務年数に基づいた退職金

Q.入団して良かったこと

A.つながりやコミュニティが広がる
就活のためのガクチカになる
知識が増える・自分が誇りになる

Q.団員を増やすために 自身で行っていること

A.知人や友人への勧誘
消防団に入団するためには基本的に
入団する市町村に居住している必要
があるため友人と居住地が違うと
一緒に活動できないことを理由に
断られてしまったという声も…

A.イベントの開催
女子学生消防団員の方が自身が通う
大学の教務課と自身が所属している
消防団員の方と協力していただいて
心肺蘇生講習を近日大学内で開催！



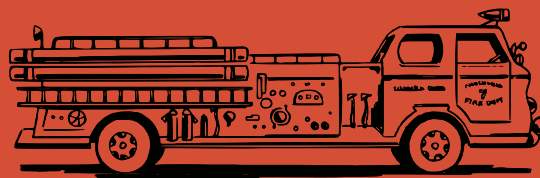
栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/I02/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>



感想



屋内訓練場での活動を通して

市民を導く団員側としての活動は初めてで、緊急時に規律をとれた行動をすることが、市民へ安心感を与え、安全な避難を実現できると学びました。加えて搬送・AED体験は被害者の今後の健康状態を左右する重要な行動を学ぶことができ、非常時にこそ勇気を出して行動することの重要性を実感しました。

屋外訓練活動を通して

土を袋に入れて運び、ホースをのばし接続・放水するというシンプルな作業でしたが、腕・腰への負担が大きく、使命感を持っていないとやり遂げられないと思いました。また一つ一つの所作に規定があり、非常時に人の命を預かるからこそその厳格さだと学びました。災害現場での確に行動するためには、知識のみならず、日ごろからの訓練が必要不可欠だと身をもって実感し、団員の方々へ感謝すると同時に非常時にこそ市民として協働しようという意志が芽生えました。

イベント全体を通して

消防団員という普段と違う立場での体験を通して得られたのは、団員側、市民側に異なる役割があり、互いの役割を理解して行動することで円滑な緊急時の行動がなせるという学びです。また、団員の方々も普段は一般市民であるからこそ、地域内において信頼関係や新たなコミュニティを作ることができ、消防団のやりがいとは防災というくりに収まらないのだと学びました。

栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>

